開講年度・学期	2018 年度・通年	授業形態	演習
科目名	専門演習（アジア法（中国法））	科目ナンバー	JASEM3303
英語表記	Seminar on Asian Law (Chinese Law)	担当教員	王　晨
単位数	4		

科目の主題

中国法学の基本的問題の検討

授業の到達目標

中国法の主要分野について基本的知識を獲得することを目標とする。中国法総論に関わる主要な論点を理解・習得することにより、法律問題をグローバルな視点からとらえる能力を高めることを目指している。

授業内容・授業計画

社会主義市場経済に見合った中国法体系の概要を理解させるとともに中国法を見ることで法の世界の広がりを感じさせることを目的とする。法の解読にとどまらず、中国法と中国社会という視点も取り入れて演習を進める予定である。

演習は、概ね以下の順序により行う予定である。

Ⅰ法と国家

Ⅱ憲法・行政法

Ⅲ民商法

Ⅳ司法制度

Ⅴ刑事法

Ⅵ社会問題と法

事前・事後学習の内容

授業までに教科書指定箇所を予習し、授業後は、しっかり復習することが重要である。授業の前後にそれぞれ 2 時間程度の予習・復習が望ましい。

評価方法

平常点(演習における質問や議論への参加の状況、レポートの提出、出席状況)で評価する。

受講生へのコメント

中国法は、近年、現代的・国際的になりつつある。また、社会主義市場経済とともに激しく変化をしている。ゼミに参加して、歴史的にも地理的にも親近感のある中国大陸の法の動きを研究し、積極的に発言することによって比較法的素養を身につけてほしい。

教材

高見澤磨・鈴木賢編『要説中国法』（東京大学出版会）

その他

履修可能最低年次

3 年次生以上